

令和2年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(防衛省 02-⑱)

施策名		二国間・多国間の共同訓練・演習の実施			担当部局名	防衛政策局		
施策の概要		防衛協力・交流としての意義も十分に踏まえつつ、二国間・多国間の共同訓練・演習を積極的に推進する。これにより、望ましい安全保障環境の創出に向けた我が国の意思と能力を示すとともに、各国との相互運用性の向上や他国との関係強化等を図る。			政策体系上の位置付け	安全保障協力の強化 (安全保障協力の強化)		
達成すべき目標		二国間・多国間の共同訓練・演習を積極的に推進し、我が国の意思と能力を示すとともに、各国との相互運用性の向上や他国との関係強化等を図る。			目標設定の考え方・根拠	【目標設定の考え方】 大綱に従い、自由で開かれたインド太平洋というビジョンを踏まえ、地域の特性や相手国の実情を考慮しつつ、多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進する。 【根拠】 大綱、中期防	政策評価実施予定時期 令和4年8月	
測定指標		目標			実績	測定指標の選定理由及び目標(水準・目標年度)の設定の根拠		
①	自衛隊と各国軍隊との相互運用性の向上や我が国のプレゼンスの強化等を目的とした二国間・多国間による共同訓練・演習を積極的に推進	二国間における共同訓練を通じた技量の向上と相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進並びに我が国にとって望ましい安全保障環境を創出 多国間における共同訓練を通じた技量の向上と相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進並びに我が国にとって望ましい安全保障環境を創出			令和5年度 別紙	・中期防において次のとおり示されていることから、これらの取り組み状況を測定指標として設定。 Ⅲ 自衛隊の能力等に関する主要事業 5 安全保障協力の強化 (1) 共同訓練・演習 防衛協力・交流としての意義も十分に踏まえつつ、二国間・多国間の共同訓練・演習を積極的に推進する。これにより、望ましい安全保障環境の創出に向けた我が国の意思と能力を示すとともに、各国との相互運用性の向上や他国との関係強化等を図る。		
達成手段(開始年度)		予算額計(執行額)			当初予算額	関連する指標	達成手段の概要等	令和2年行政事業レビュー事業番号
		29年度	30年度	令和元年度	2年度			
(1)	油購入費(S33)	96,664 (92,603)	126,032 (120,304)	117,660 (109,760)	106,539	1	周辺海空域における安全確保、各種攻撃への対応等に関して、防衛力の中核となる航空機、車両及び艦船等を運用するための燃料を確保するとともに、隊員の勤務及び生活の基盤である基地等の運営に必要な燃料を確保する。	0065
(2)	パシフィック・パートナーシップ(H19)	188 (117)	190 (117)	189 (73)	181	1	パシフィック・パートナーシップ(PP)に参加することによって、関係国間の相互理解と協力関係を増進し、我が国にとって望ましい安全保障環境の創出に寄与するとともに、日米安保体制を強化することによって、我が国の平和と安全を確保する。また、活動を通じ、国際緊急援助活動や国際平和協力業務での医療や輸送に関する自衛隊の練度・技量の向上を図るとともに、民間団体との調整・連携のためのノウハウを得る。	0296
(3)	ハイレベル政策的交流(S45)	218 (179)	242 (230)	245 (188)	276	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。その中において、ハイレベル政策的交流は、他国とのハイレベル(防衛大臣、副大臣、大臣政務官、事務次官、防衛審議官、統・陸・海・空幕長)同士による対話や相互訪問を行うことにより、直接的に相互の信頼、協力関係の充実・強化の増進を図ることを目的としている。また、今後の両国の防衛協力・交流についての具体的方向性を決定している一方で、ハイレベル同士の友好関係の形成や認識の共有も行われており、防衛当局者間の信頼関係の強化にも寄与している。	0330
(4)	実務レベル政策的交流(H2)	141 (164)	192 (131)	108 (163)	108	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。その中において、実務レベル政策的交流は、ハイレベルの対話・交流を基礎として、国防政策の実務を担当する企画立案者同士が継続的に直接意見交換をすることで、当該国との相互の信頼・協力関係の充実・強化の増進に寄与することを目的としている。実務レベル同士の交流は、ハイレベル同士の対話・交流と比べ、より実務的・実践的な意見交換が行われており、具体的な施策の実現に大きく寄与する。	0331
(5)	部隊レベル対話(S44)	153 (51)	155 (45)	45 (45)	52	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。その中において、部隊間対話は、部隊間の共同訓練や交流事業などを通じて相互の信頼・協力関係の充実・強化の増進を図ることを目的としている。	0332
(6)	多国間・2国間交流(H25)	431 (69)	449 (304)	470 (349)	1,586	1	防衛計画の大綱に示された方向性に従い、アジア太平洋地域の一層の安定化の実現を目的として、二国間・多国間による共同訓練・演習を積極的に実施し、自衛隊の任務遂行能力を向上させるとともに、関係国との協力関係の構築・強化を図る。また、グローバルな安全保障環境の改善を目的として、国際平和協力活動、大量破壊兵器等の拡散阻止等に係る多国間演習等に積極的に参加する。	0333
施策の予算額・執行額		97,795 (93,183)	127,260 (121,131)	118,717 (110,578)	108,742	施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)(平成30年12月18日国家安全保障会議決定及び閣議決定) Ⅲ-5-(1)共同訓練・演習	

※達成手段の令和2年度行政事業レビューシートは、中間公表段階のものである。

令和2年度実施施策に係る政策評価の事前分析表(別紙)

(防衛省02-⑱)

施策名	二国間・多国間の共同訓練・演習の実施
-----	--------------------

測定指標	目標	施策の進捗状況
	①自衛隊と各国軍隊との相互運用性の向上や我が国のプレゼンスの強化等を目的とした二国間・多国間による共同訓練・演習を積極的に推進	
	二国間における共同訓練を通じた技量の向上と相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進並びに我が国にとって望ましい安全保障環境を創出	<p>●令和元年度においては、以下のとおり二国間共同訓練(米を除く)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日仏共同訓練(4月) ・日文共同訓練(4月) ・日印共同訓練(4月×2回、5月、12月) ・日豪共同巡航訓練(5月) ・日比共同訓練(5月、6月、9月) ・日露捜索・救難共同訓練(6月) ・日加共同訓練(KAEDEX19)(6月、10月) ・日豪共同訓練「日豪トライデント」(9月、10月) ・英国における英陸軍との実動訓練「ヴィジラント・アイルズ19」(9月～10月) ・日印共同訓練「シンユウ・マイトウリ19」(10月) ・日英共同訓練(10月) ・インドにおけるインド陸軍との実動訓練「ダルマ・ガーディアン19」(10月～11月) ・EU海上部隊との海賊対処共同訓練(スペイン)(令和2年1月、令和2年2月) ・スリランカ共同訓練(令和2年1月) ・フランス空軍との海賊対処共同訓練(令和2年1月、令和2年2月、令和2年3月) ・ロシア海軍との海賊対処共同訓練(令和2年1月) <p>【統合幕僚監部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オマーン海軍との海賊対処共同訓練(5月) ・ロシア海軍との海賊対処共同訓練(令和2年1月) ・フランス空軍との海賊対処共同訓練(令和2年1月、令和2年2月、令和2年3月) ・EU海上部隊との海賊対処共同訓練(スペイン)(令和2年1月、令和2年2月) <p>【陸上自衛隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英国における英陸軍との実動訓練「ヴィジラント・アイルズ19」(9月～10月) ・インドにおけるインド陸軍との実動訓練「ダルマ・ガーディアン19」(10月～11月) <p>【海上自衛隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日仏共同訓練(4月) ・日文共同訓練(4月) ・日印共同訓練(4月×2回、5月、12月) ・日比共同訓練(5月、6月、9月) ・日豪共同巡航訓練(5月) ・日露捜索・救難共同訓練(6月) ・日加共同訓練(KAEDEX19)(6月、10月) ・日豪共同訓練「日豪トライデント」(9月、10月) ・日英共同訓練(10月) ・日錫共同訓練(令和2年1月) <p>【航空自衛隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日豪共同訓練「武士道ガーディアン10」(9月～10月) ・日印共同訓練「シンユウ・マイトウリ19」(10月)
元年度		

多国間における共同訓練を通じた技量の向上と相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進並びに我が国にとって望ましい安全保障環境を創出

- 令和元度においては、以下のような多国間共同訓練に参加した。
 - ・豪州における豪陸軍主催射撃競技会(3月～4月)
 - ・日米印比共同巡航訓練(5月)
 - ・日仏豪米共同訓練「ラ・ペルーズ」(5月)
 - ・日米豪韓共同訓練(パシフィック・ヴァンガード19-1)(5月)
 - ・日米豪共同訓練(5月)
 - ・多国間共同訓練「カーンクエスト」(6月)
 - ・豪州における米豪軍との実動訓練「サザン・ジャッカルー」(5月～6月)
 - ・韓国主催PSI訓練「イースタン・エンデバー19」(7月)
 - ・掃海特別訓練(日米印共同訓練)(7月)
 - ・拡大ASEAN国防相会議(ADMMプラス)人道支援・災害救援演習(7月～8月)
 - ・ADMMプラスPKO専門家会合参加国合同実動訓練(9月)
 - ・日米印共同訓練「マラバール」(9月～10月)
 - ・ニューカレドニア駐留仏軍主催HA/DR多国間訓練「赤道19」(9月～10月)
 - ・米比共同訓練「カマンダグ19」(10月)
 - ・米比共同訓練「MTA SAMA SAMA 2019」(10月)
 - ・米国主催国際海上訓練(10月～11月)
 - ・第8回西太平洋潜水艦救難訓練「パシフィック・リーチ2019」(11月)
 - ・海上自衛隊演習(実動演習(日米豪加共同訓練))(11月)
 - ・掃海特別訓練(日米豪共同訓練)(11月)
 - ・ミクロネシア連邦等における人道支援・災害救援共同訓練「クリスマス・ドロップ」(12月)
 - ・令和元年度米海軍主催固定翼哨戒機多国間共同訓練「シードラゴン2020」(令和2年1月)
 - ・コープ・ノース20における日米豪共同訓練及び日米豪人道支援・災害救難共同訓練(令和2年1月～3月)
- 【統合幕僚監部】
- ・韓国主催PSI訓練「イースタン・エンデバー19」(7月)
 - ・拡大ASEAN国防相会議(ADMMプラス)人道支援・災害救援演習(7月～8月)
 - ・ニューカレドニア駐留仏軍主催HA/DR多国間訓練「赤道19」(9月～10月)
 - ・多国間共同訓練「コブラ・ゴールド20」(令和2年1月～3月)
- 【陸上自衛隊】
- ・豪州における豪陸軍主催射撃競技会(3月～4月)
 - ・豪州における米豪軍との実動訓練「サザン・ジャッカルー」(5月～6月)
 - ・多国間共同訓練「カーンクエスト」(6月)
 - ・ADMMプラスPKO専門家会合参加国合同実動訓練(9月)
 - ・米比共同訓練「カマンダグ19」(10月)
- 【海上自衛隊】
- ・日米印比共同巡航訓練(5月)
 - ・日仏豪米共同訓練「ラ・ペルーズ」(5月)
 - ・日米豪韓共同訓練(パシフィック・ヴァンガード19-1)(5月)
 - ・日米豪共同訓練(5月)
 - ・機雷戦訓練(陸奥湾)及び掃海特別訓練(日米印共同訓練)(7月)
 - ・日米印共同訓練「マラバール2019」(9月～10月)
 - ・米比共同訓練「MTA SAMA SAMA 2019」(10月)
 - ・米国主催国際海上訓練(10月～11月)
 - ・第8回西太平洋潜水艦救難訓練「パシフィック・リーチ2019」(11月)
 - ・海上自衛隊演習(実動演習(日米豪加共同訓練))(11月)
 - ・掃海特別訓練(日米豪共同訓練)(11月)
 - ・令和元年度米海軍主催固定翼哨戒機多国間共同訓練「シードラゴン2020」(令和2年1月)
 - ・コープ・ノース20における日米豪共同訓練(令和2年1月～3月)
- 【航空自衛隊】
- ・ミクロネシア連邦等における人道支援・災害救援共同訓練「クリスマス・ドロップ」(12月)
 - ・コープ・ノース20における日米豪共同訓練及び日米豪人道支援・災害救難共同訓練(令和2年1月～3月)

元
年
度

担当部局名	防衛政策局	政策評価 実施時期	令和4年8月
-------	-------	--------------	--------